

第 1 1 0 回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成 2 4 年 1 2 月 1 2 日 (火)
- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| 1 2 : 0 0 | 第 110 回総務委員会 | 鉄鋼会館 806 |
| 1 5 : 0 0 | 経産省ヒアリング | 経産省会議室 6 F |
| 1 6 : 3 0 | 業界紙記者と懇談 | 当組合会議室 |

2. 第 1 1 0 回総務委員会

出席者

笹田幹雄 (理事総務委員長)
高木 建 (理事長)
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)
高木唯夫 (副理事長・東海支部長)
浅野博之 (副理事長・大阪支部長)
柘野 (事務局)

- 議 題
- (1) 経済産業省 4 Q ヒアリング資料の検討について
 - (2) 2 5 年新年賀詞交歓会の出席状況について
 - (3) 次期通常総会の開催計画 (案) について
 - (4) 第 4 回全国青年交流会の開催日程等について
 - (5) 「理事会」運営方針の見直し (案) について
 - (6) 今後の会合予定について

経 過

笹田委員長の司会により議事が進められた。

(1) 経済産業省 4 Q ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、一部修正の上了承された。(資料は別稿参照)

(2) 2 5 年新年賀詞交歓会の出席状況について

事務局より、来年 1 月 1 5 日 (火) 開催の標記新年賀詞交歓会の開催概要及び出席予定者に関し、以下の通り説明が行われ、了承された。

・日時 平成 2 5 年 1 月 1 5 日 (火) 1 7 : 0 0 ~

- ①受付開始 16 : 00
- ②立礼役員集合 16 : 30
- ③立礼開始 16 : 40
- ④開会 17 : 00
- ⑤中締め 18 : 30

- ・会場 ロイヤルパークホテル 3 階「ロイヤルルーム」
- ・出席予定者数 5 5 6 名 (うち当組合員 1 3 0 名、12/12 現在)
- ・幹事団体 全国コイルセンター工業組合

(3) 次期通常総会の開催計画(案)について

第 9 2 回理事会(24..10.26 大阪)の審議結果を踏まえ、第 3 8 期通常総会の開催計画(案)について、旅行会社担当者より説明があった後、種々検討が行われた。審議の結果、概要以下の通り決定した。

・平成 2 5 年 5 月 1 7 日(金) 沖縄県名護市「喜瀬ビーチパレス」

1 6 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0 第 3 8 期通常総会

1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 0 0 懇親会

・平成 2 5 年 5 月 1 8 日(土)

①懇親ゴルフ会 喜瀬カントリークラブ

②観光バスツアー 美ら海水族館→平和祈念公園→国際通り

なお開催案内状は、2 月上旬に出状する予定。

(4) 第 4 回全国青年交流会の開催日程等について

標記の「全国青年交流会」は、平成 2 2 年度以降毎年開催されている。第 1 回は東京、第 2 回は名古屋、第 3 回は大阪で開催された。第 4 回は、前回交流会において、東京及び東海支部青年会より、「次回は是非北海道で開催を」との提案・申し入れがあった。これを受けて、北海道支部長にご相談したところ、「希望があれば、当地開催を受け入れたい。」とのご回答を得た。また気候の関係からなるべく早い時期に開催した方が良いとのご提案をいただいた。

以上経緯説明があった後、検討した結果、「北海道支部と相談し、9 月開催の方向で話を進めてほしい。」との意見が太宗を占めた。

今後、行事・日程等については、北海道支部と連携し、青年会の意見も聞きながら具体化していくこととなった。

(5) 「理事会」運営方針の見直し(案)について

先般、理事より、「1 0 月度理事会の出席者が少ないのは、なぜか。議題に問題があるのか、経営が厳しい中で交通費が負担になっているためか。今後の運営方針を見直す必要があると思う。」との指摘があった。

2 2 年以降の出席者数、理事会議題の内容は以下の通り。

①理事会出席者数(2 2 年度以降)

・2 2 年 4 月東京：2 0 名、同年 1 0 月大阪：1 5 名

・2 3 年 4 月東京：2 0 名、同年 1 0 月大阪：1 5 名

・2 4 年 4 月東京：1 8 名、同年 1 0 月大阪：1 5 名

(注) 理事数は 2 6 名。監事は除く。

②理事会の議題

・4 月度理事会(東京開催)

【議題】①総会付議事項(・事業報告及び決算報告、・役員の改選、補欠選任、・事業計画及び予算案)、②総会の役割分担、③正副委員長の選任、④支部情勢に関する懇談

・ 10 月度理事会（大阪開催）

【議題】①年度上半期の事業経過報告、②年度予算の執行状況報告、③組合員・賛助会員の入脱会
状況報告、④次期総会の開催日程・開催地について、⑤会議会合予定の確認、⑥支部情
勢に関する懇談、⑦特別テーマ報告

・ 交通費；全額自己負担

以上の現状を踏まえ、種々審議した結果、「必要に応じて①臨時理事会（定款第 4 4 条 3 項）、
②書面理事会（定款第 4 7 条）を開催するとともに、③メール・郵送にて書類を送付し報告する
など、理事会機能の維持に努めることとし、これらを担保したうえで、来年度より 10 月度理事
会は開催を取り止め、東京開催 1 回とする」こととなった。また、交通費は従来通り全額自己
負担とすることが了承された。

本件は来年 4 月理事会に報告し、審議する予定である。

(6) 今後の会合予定について（1 ページの会議会合予定表をご覧ください）

3. 24 年度 4 Q 経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

山下鉄鋼課長、石神課長補佐他

厚板シヤ工組

高木理事長、酒匂東京支部長、高木東海支部長、浅野大阪支部長、
笹田理事総務委員長、
柘野（事務局）

経過

最初に、高木理事長より、「足元の状況は、橋梁は物件の出遅れから伸び悩み、低迷している。
建築鉄骨も工事の遅れで不安定な状態が続いており、緩やかな増基調も、本格的回復には至
っていない。来年度以降に期待したい。需要はしばらく底這うことから辛抱が必要。在庫率
の安定が環境立て直しには不可欠である。高炉メーカーに対しても需給対策には本腰を入れ
て取り組んでほしいと申し入れたところである。逃げ水のごとく、橋梁・鉄骨工事がズレズ
レになり、常態化しているが、物件はあるのでいつかは出てくるが、それまで辛抱が続く。
既に個社のコストダウンは限界に達しており、各社が能率を向上させ、販価の改善と収益率
を引き上げ、適正マージンをとれるようにするしかない。ここが勝負所と思い、懸命に頑張
っているところである。

国を挙げての“安心・安全のためのインフラ整備”の必要性が日々高まっている。

行政当局には、当業界の窮状をご理解いただくとともに、“インフラ整備”は必要であると
是非声をあげていただきたい。引き続きご支援をお願いしたい。また最近ヘリウムの供給不
足が問題になっているが、この背景や先々の影響についてご教示いただきたい。」との挨拶な
らびに要望が行われた。

『第 110 回総務委員会と経産省ヒアリング記録』

続いて、各支部長から地区情勢報告があった後、鉄鋼課より、「マージン確保の具体策は」、「具体的なコストダウン策は」、「適正在庫率が200%以下といわれる根拠は」、「建機が急激に落ち込んでいるが、循環的な現象か、構造的問題を内包しているのか。」、等の質問が出され、活発な意見交換が行われた。

以上